

TOTO

背面ウォール収納キャビネット

UGW101S

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。本書に記載の寸法の単位はmmです。

安全上のご注意

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味



警告

死亡や重傷を負う可能性がある内容です。



してはいけない禁止の内容です。



注意

傷害や物的損害※が発生する可能性がある内容です。



必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

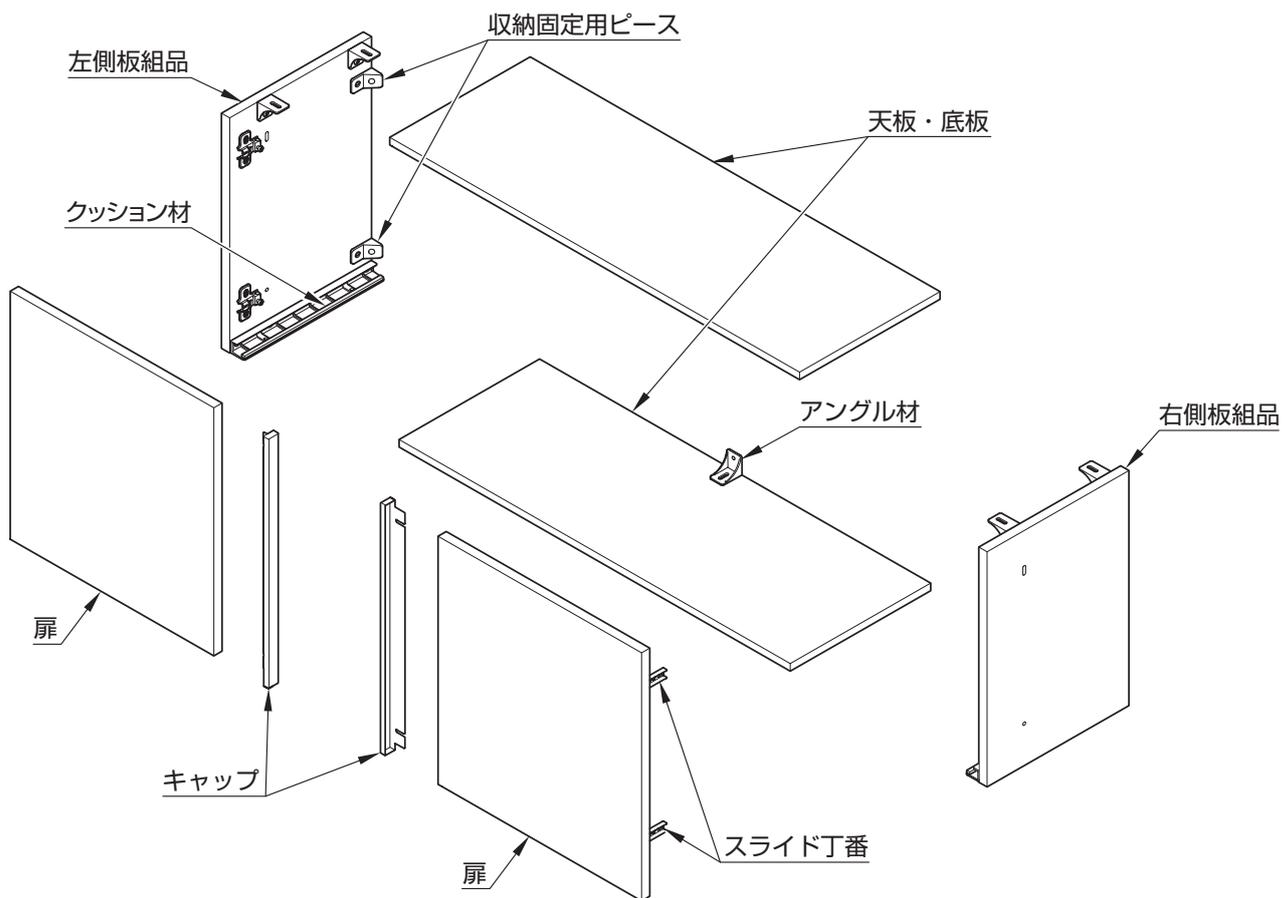
警告

	浴室など水がかかったり湿気の多い場所に設置しない 商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがのおそれがあります。	
	屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがのおそれがあります。	器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を入れる 商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。 取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、 コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下してけがのおそれがあります。	工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがのおそれがあります。 商品を取り付ける柱・間柱は腐食などで強度不足でないことを確認する 商品が転倒・落下してけがのおそれがあります。

注意

	商品に強い力や衝撃を与えない 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。		
	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたり、物を載せたりしないよう十分注意する 倒れや落下によりけがのおそれがあります。 カットした面は滑らかに仕上げる 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがのおそれがあります。	商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下してけがのおそれがあります。 設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。	吊元が左右両横になるように設置する 扉が落下してけがのおそれがあります。 推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがのおそれがあります。 水平器を用いて水平に設置する 収納物が落下してけがのおそれがあります。

商品の構成



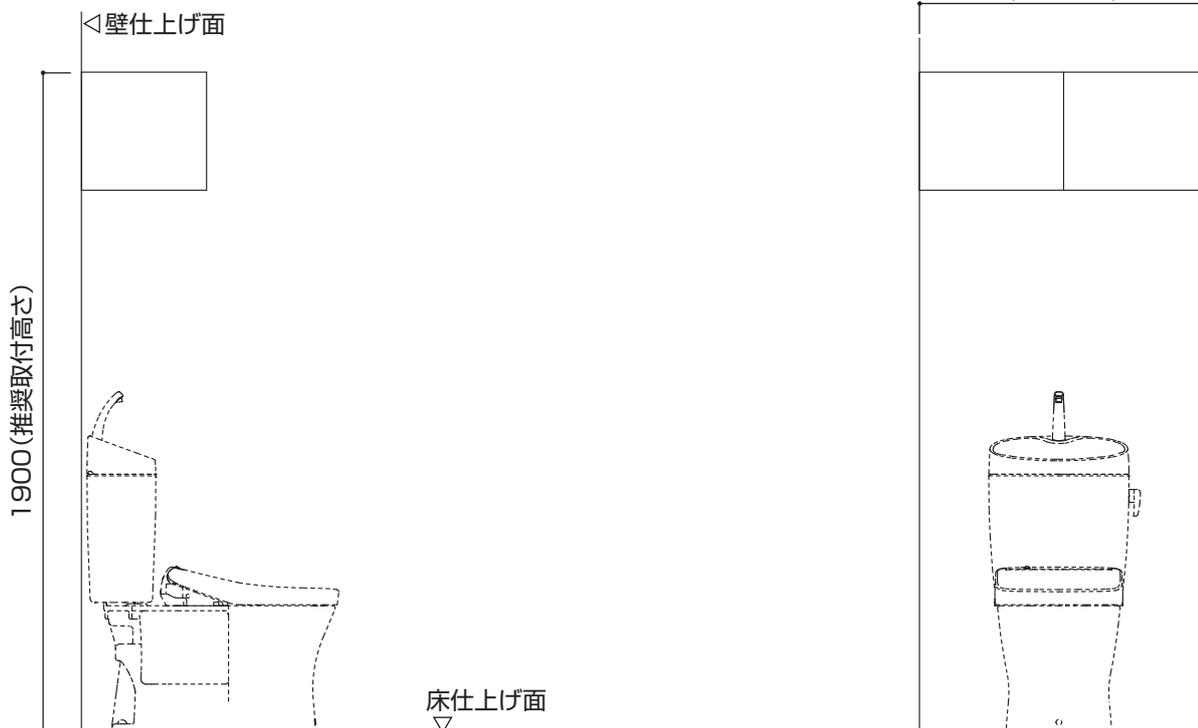
設置寸法

商品を設置する床面や壁面に6/1000mm以上の不陸が無いことを確認してください。
床・壁面が6/1000mm以上の不陸がある場合、商品に著しい段差やすき間が生じることがあります。

・下図を参考にして、床面より1900mm上端になるように取り付けてください。

・対応間口は750~960mmです。
上記以外の間口には対応できません。

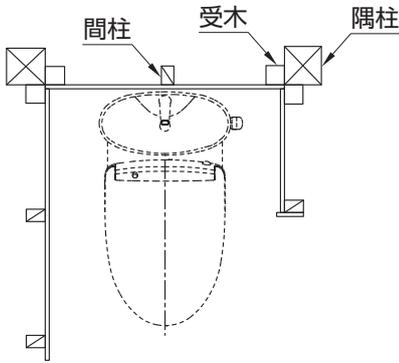
750~960
(間口寸法)



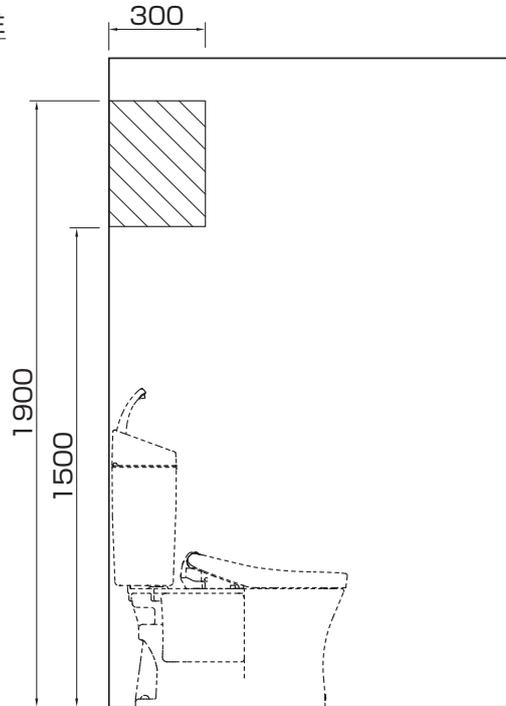
補強材位置

- ・後壁と横壁が、受木／隅柱などを介し、連結されていること、かつ後壁に間柱があることを確認してください。
- ・受木／隅柱がない場合は横壁に、後壁に間柱がない場合は後壁に建築工事（別途工事）にて、下図斜線部にあらかじめt12以上の合板（JAS規格相当品）を入れておいてください。
- ・合板は受木または間柱などに固定してください。
- ・タイル・コンクリート壁の場合は、固定ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んで固定してください。

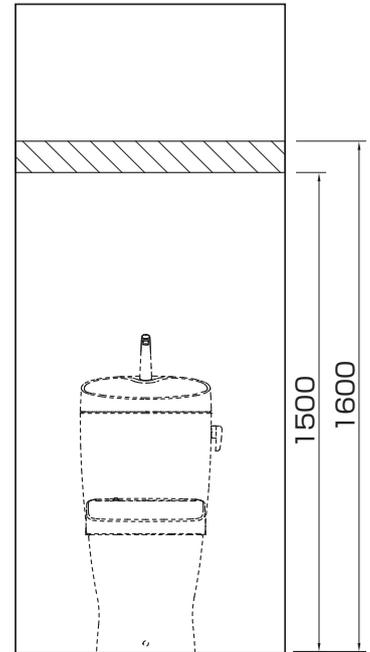
【後壁について】



【受木／隅柱がない場合】

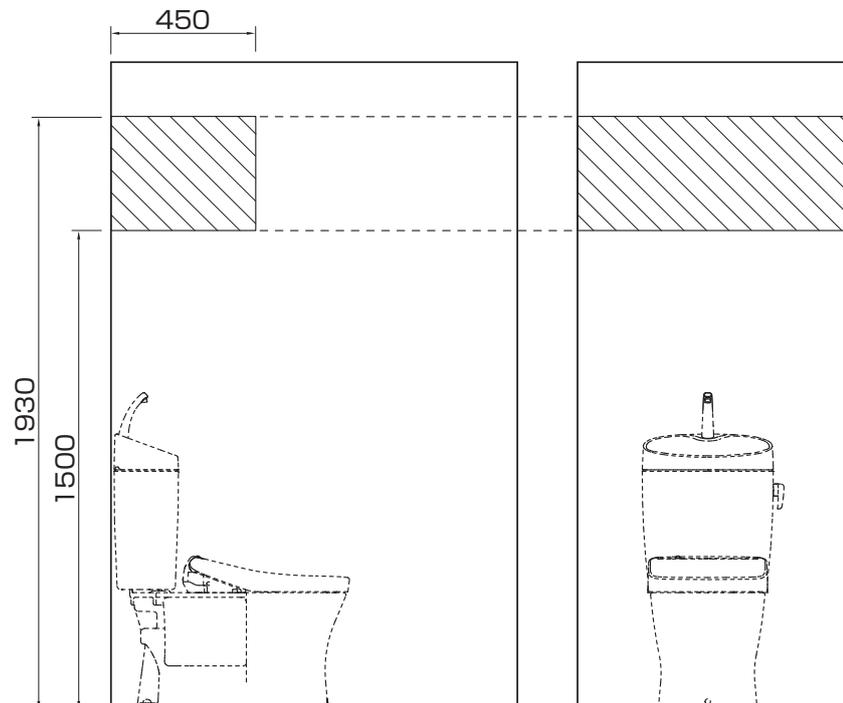


【後壁に間柱がない場合】



窓枠

窓がある場合、図のような制約が付きます。
事前に商品と干渉しないように注意してください。



図中の  範囲に窓枠がないこと

必要工具

一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してから施工を始めてください



えんぴつ



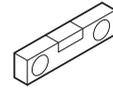
電動ドリル
φ3



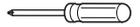
電動ドライバー
(+)65mm #2ビット
(+)200mm #2ビット



のこぎり



水平器



ドライバー

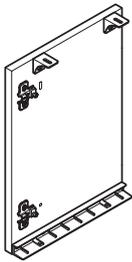
壁裏補強なしの場合のオプション品



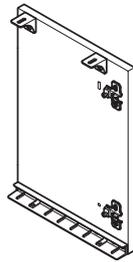
ボードアンカー
(品番:UGA490B 50個入)

※タイプ・現場状況により必要数量が異なります。

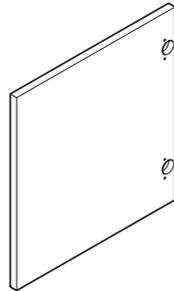
部品の確認



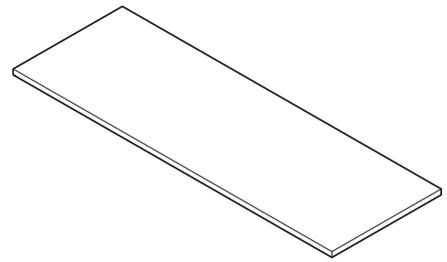
左側板組品



右側板組品

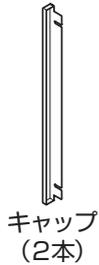


扉
(2枚、左右共通)



天板・底板
(2枚)

【キャップセット】



キャップ
(2本)



十字穴付トラスタッピンねじ
(4×12)(4本)
(キャップ取り付け用)



緩衝材
(2個)

【スライド丁番セット】



スライド丁番
(4個)



十字穴付皿タッピンねじ
(3.5×14)(8本)
(スライド丁番取り付け用)

【付属材セット】



十字穴付トラスタッピンねじ
(4×50)(10本)
(壁固定用)



十字穴付トラスタッピンねじ
(4×12)(10本)
(アングル材取り付け用)



十字穴付低頭タッピンねじ
(4.5×12)(4本)
キャップ付き(天板固定用)



アングル材
(2個)



収納固定用ピース
(4個)
(壁固定用)



スペーサー
(16個)

【施工説明書セット】



施工説明書



緩衝材
(2個)



ラベル
(4VOC性能表示)

【クッション材セット】



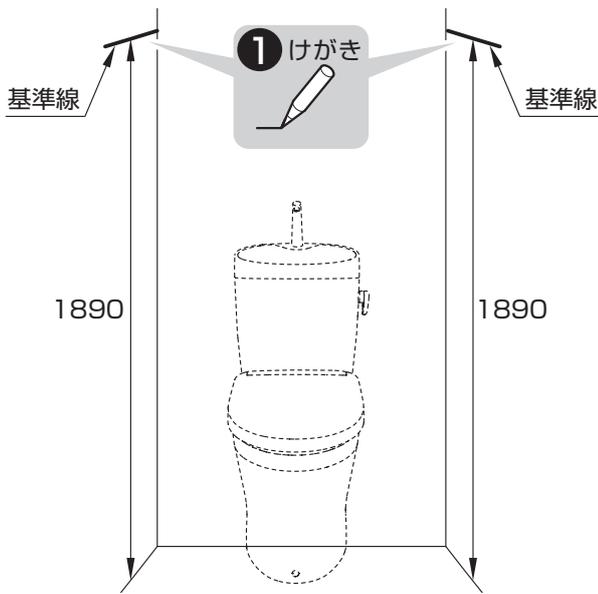
クッション材



取扱説明書

取り付け方法

1 側板組品の仮固定



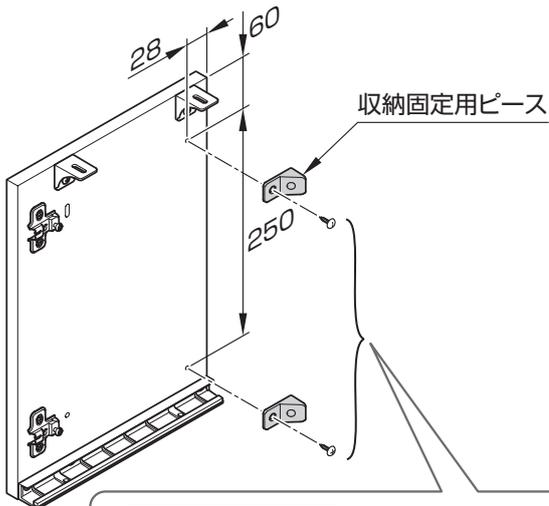
2 クッション材を張り付ける (左右側板組品共)



3 収納固定用ピースを取り付ける (左右側板組品共)

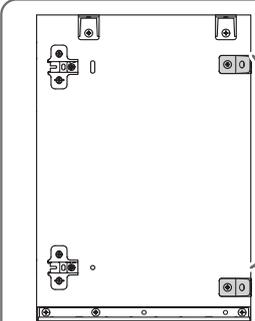
※後壁に受木/隅柱がある場合

手締めで

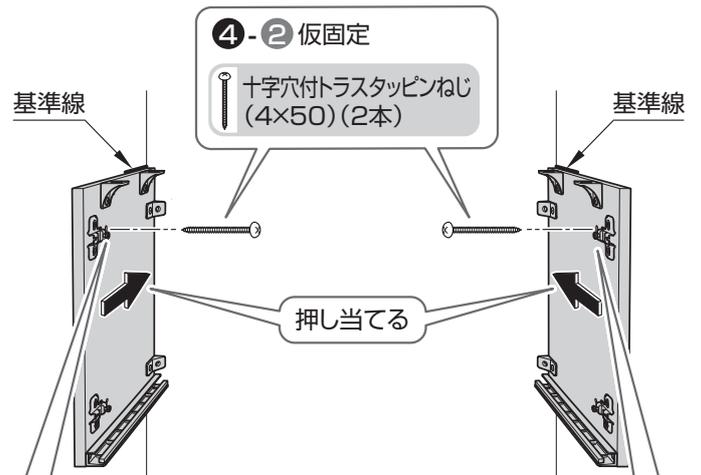


十字穴付トラスタッピンねじ (4×12) (4本)

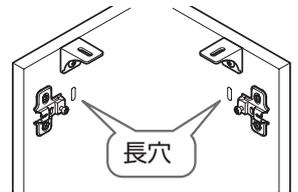
※側板組品の木口面から収納固定用ピースが飛び出さないこと



4 側板組品上端を基準線にあわせ、長穴で仮固定をする

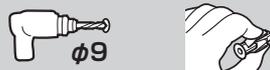


4-1 側面壁にけがき → 下穴

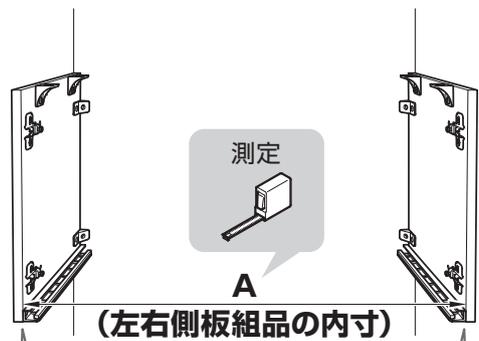


※【壁裏補強なしの場合】

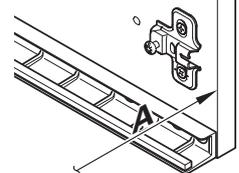
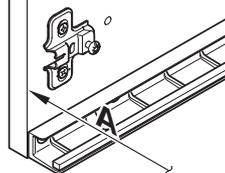
下穴 → ボードアンカー (オプション)



5 基準寸法の測定



※取付材の上部・側板組品の前側で測定



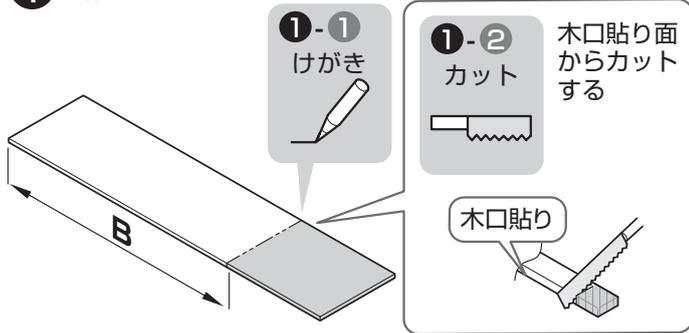
注意

正確に寸法を測定する

全てのけがき寸法の基準となる寸法です。部品の取り付けができない、またはすき間が空きすぎて意匠が損なわれるおそれがあります。

2 側板組品・底板の本固定

1 底板をカットする



測定寸法A



-10mm=

けがき寸法B

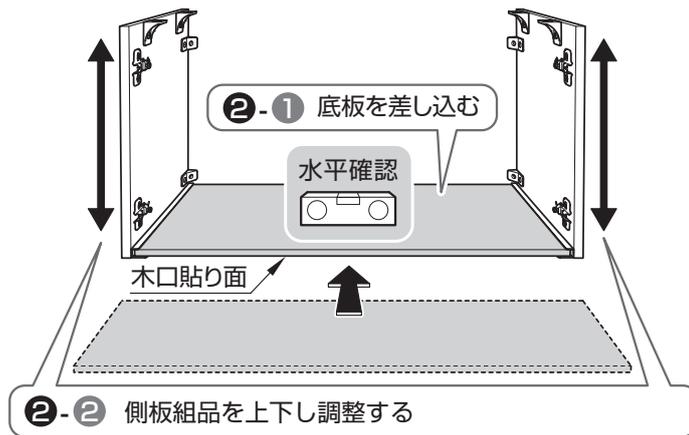


注意

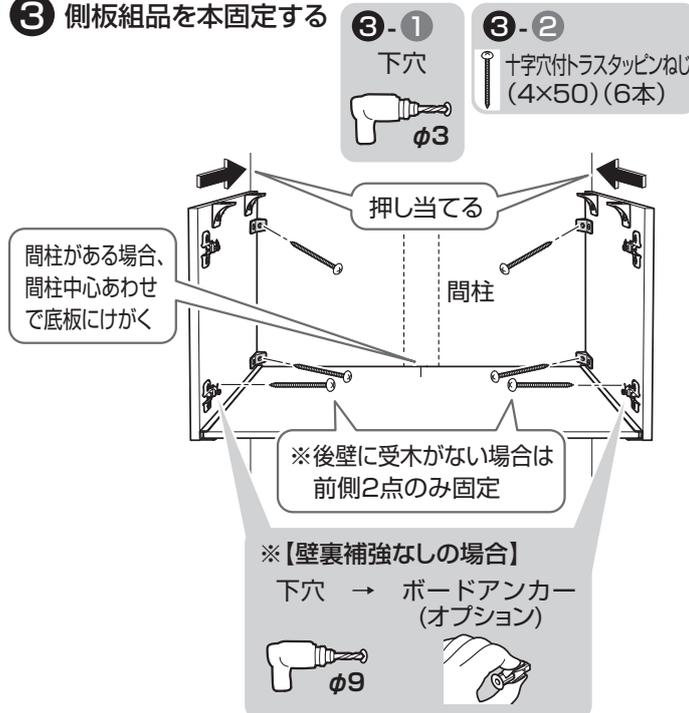
必ずB寸法を計算する

底板が取り付けできない、またはすき間が空きすぎて意匠が損なわれるおそれがあります。

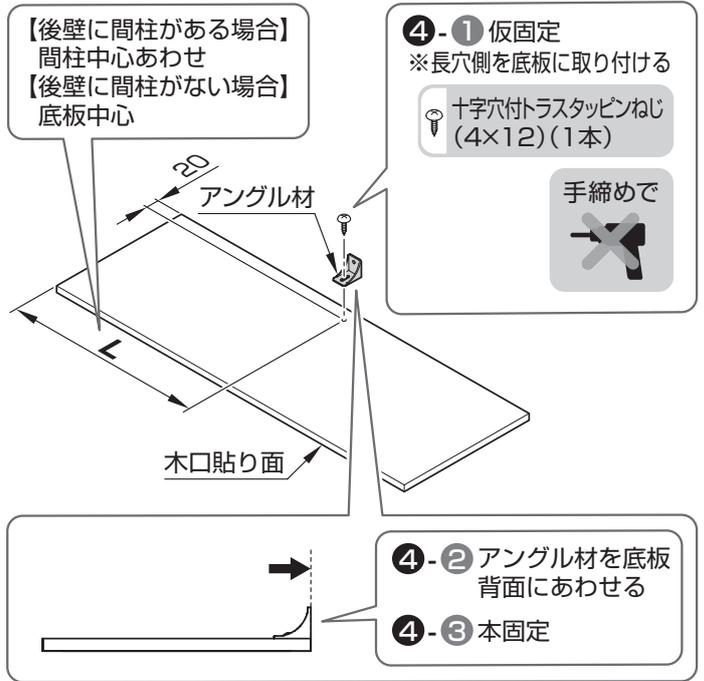
2 底板を差し込み、水平に調整する



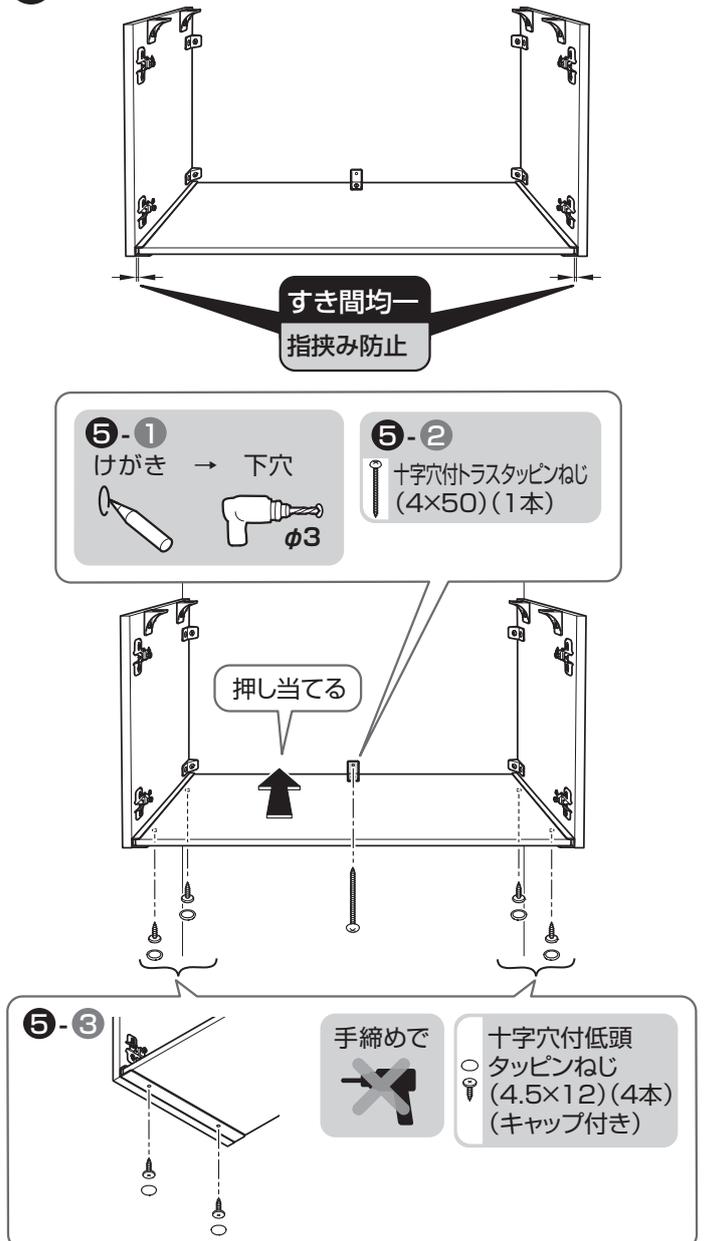
3 側板組品を本固定する



4 底板を取り外し、アングル材を底板に取り付ける

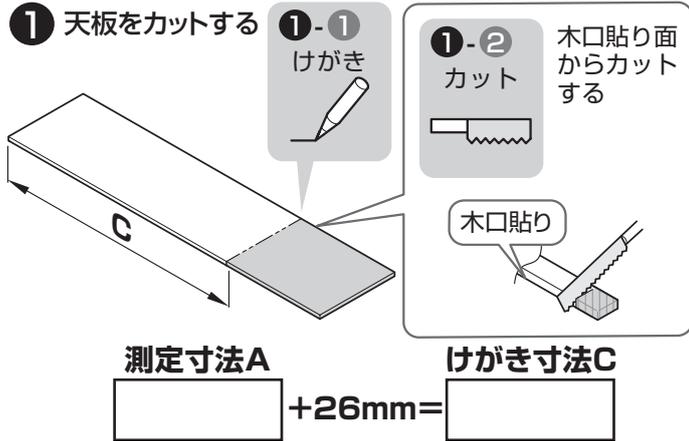


5 再度底板を差し込み、固定する



3 天板の取り付け

1 天板をカットする

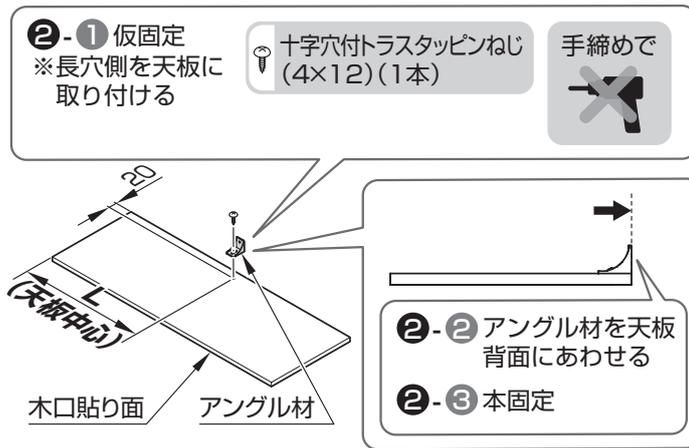


注意

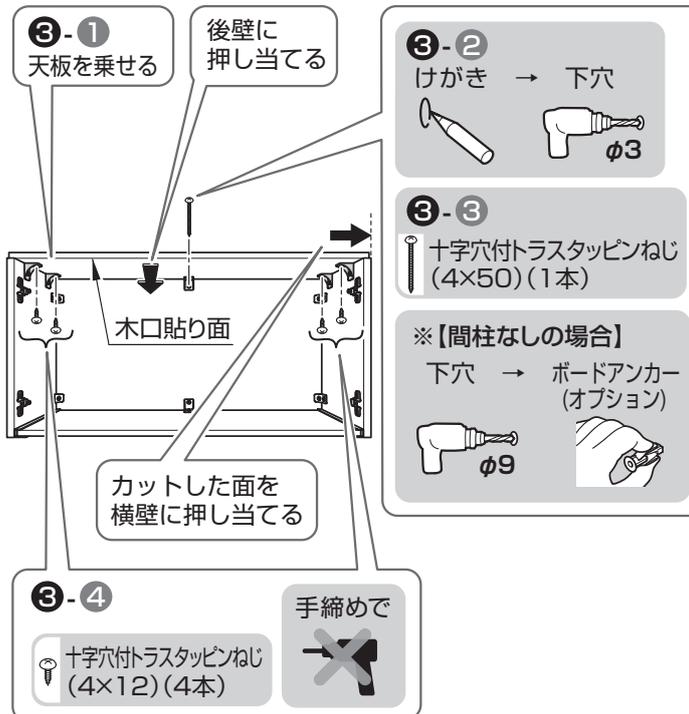
必ず C 寸法を計算する

天板が取り付けできない、またはすき間が空きすぎて意匠が損なわれるおそれがあります。

2 アングル材を天板に取り付ける



3 天板を側板組品に乗せ、固定する

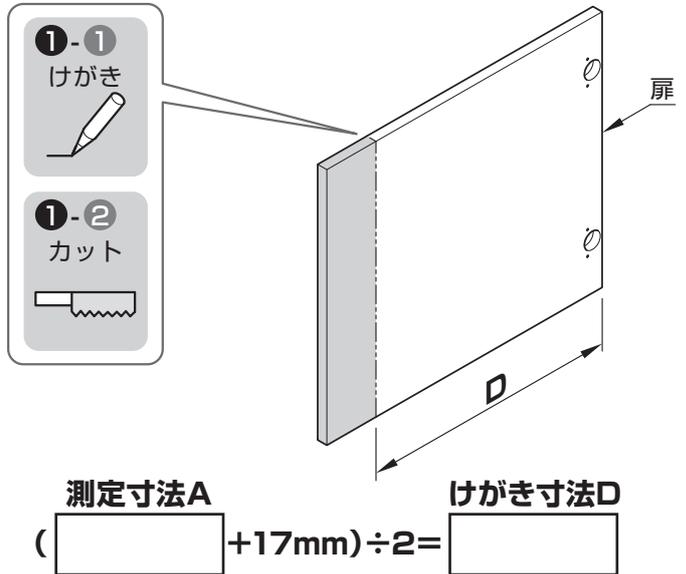


4 扉の取り付け

1 扉をカットする

注意

表面 (化粧あり) を上にしてカットする

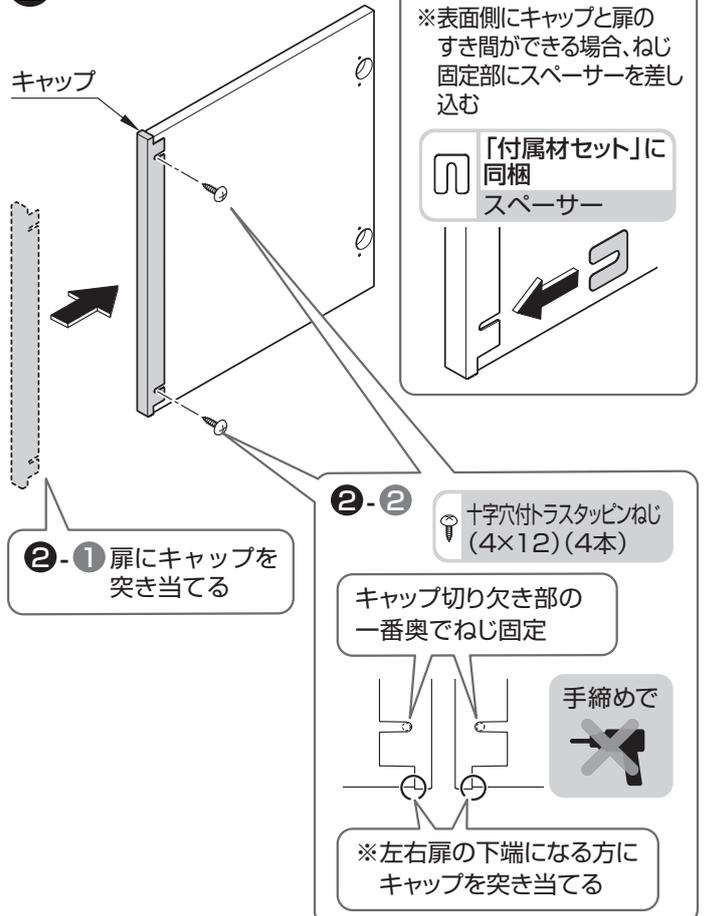


注意

必ず D 寸法を計算する

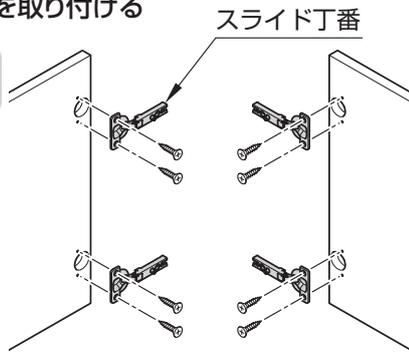
扉が取り付けできない、またはすき間が空きすぎて意匠が損なわれるおそれがあります。

2 扉にキャップを取り付ける



3 扉にスライド丁番を取り付ける

十字穴付皿タップピンねじ
(3.5×14) (8本)

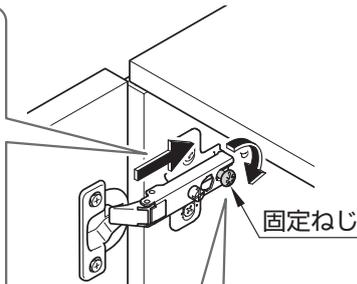
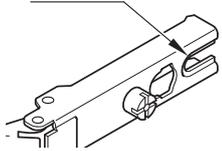


4 扉を側板組品に取り付ける

4-1

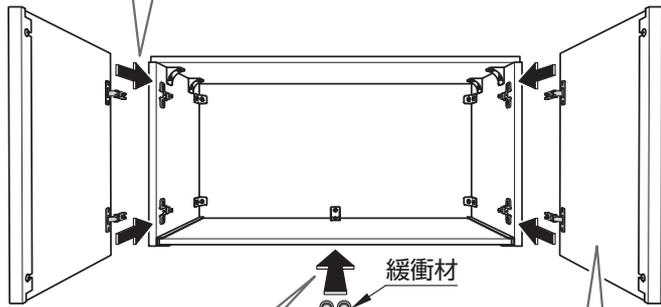
U字の溝を固定ねじに
差し込む

U字の溝



固定ねじ

4-2 固定ねじを締める



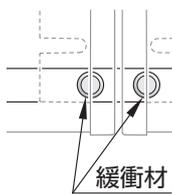
緩衝材

4-3

緩衝材を天板木口に張り
付ける

※扉を閉めた際、キャップに
当たるように配置する

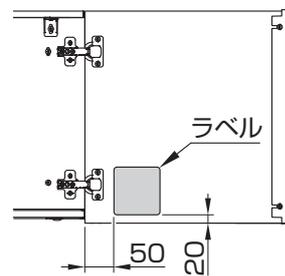
「キャップセット」に同梱
緩衝材



緩衝材

4-4

右扉にラベルを張り付ける



ラベル

50

50

4-5 扉を開けた時、壁などと当たる場合は張り付ける

注意

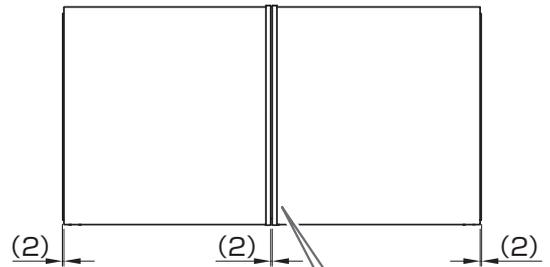
張付面は水拭きし、乾燥後張り付ける



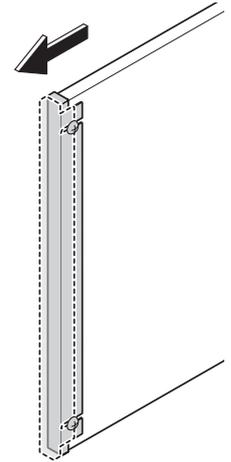
「施工説明書セット」に同梱
緩衝材

※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒にお客様に
渡してください。

5 各すき間を2mmを目安に調整する

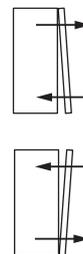


※スライド丁番のみで調整できない
場合、キャップを広げて調整する

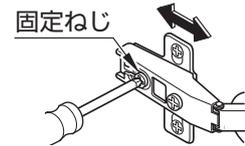


(スライド丁番調整方法)

前後調整

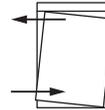


調整ねじをゆるめて前後調整し、
次に調整ねじを締め直す。



固定ねじ

左右調整



調整ねじを回して左右の傾きを
調整する。



調整ねじ

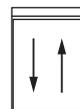
左まわし

右まわし

左まわし

右まわし

上下調整



調整ねじを緩めて、金具を上下に
調整する。

ねじを回し過ぎると、ねじが
きかなくなります。

